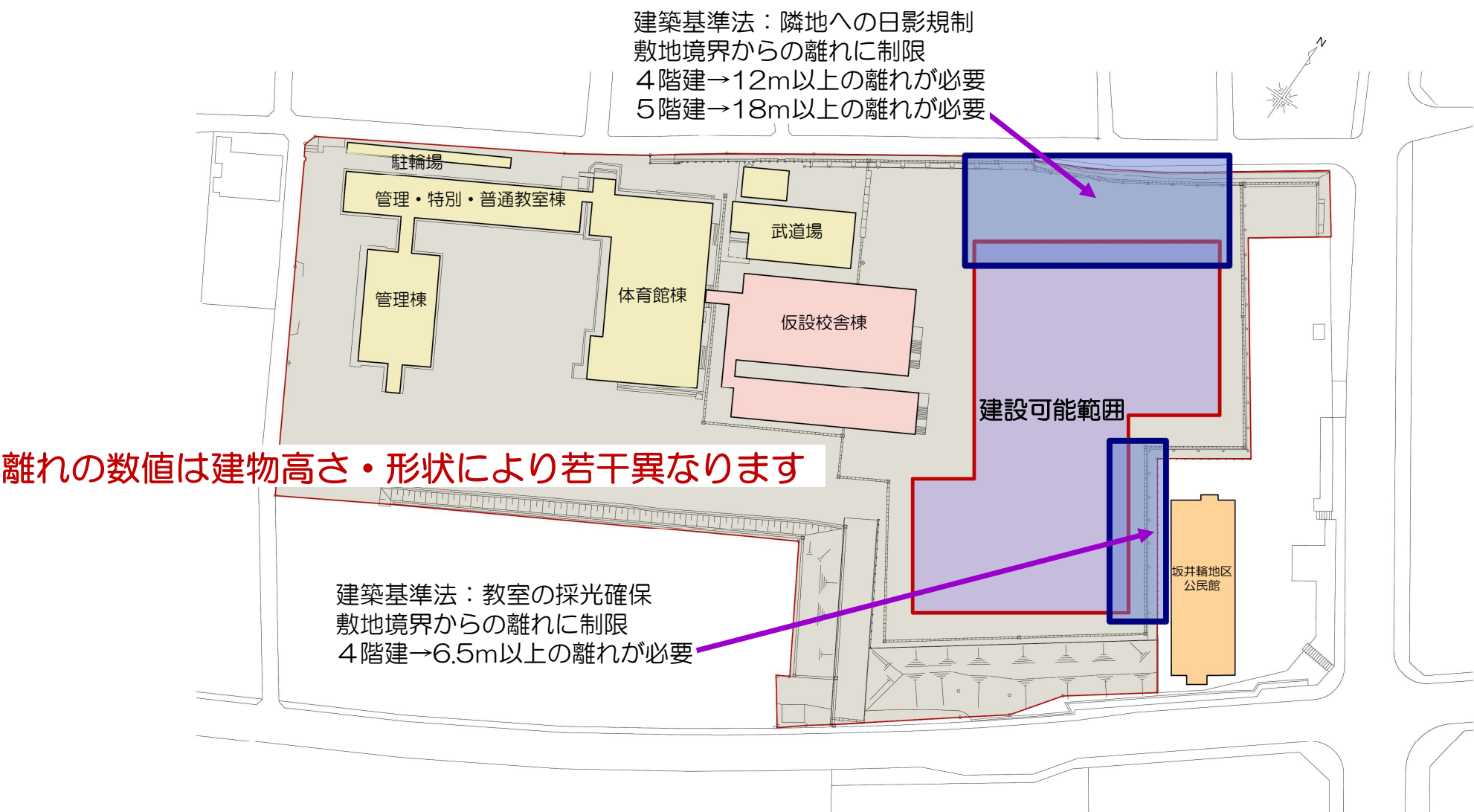
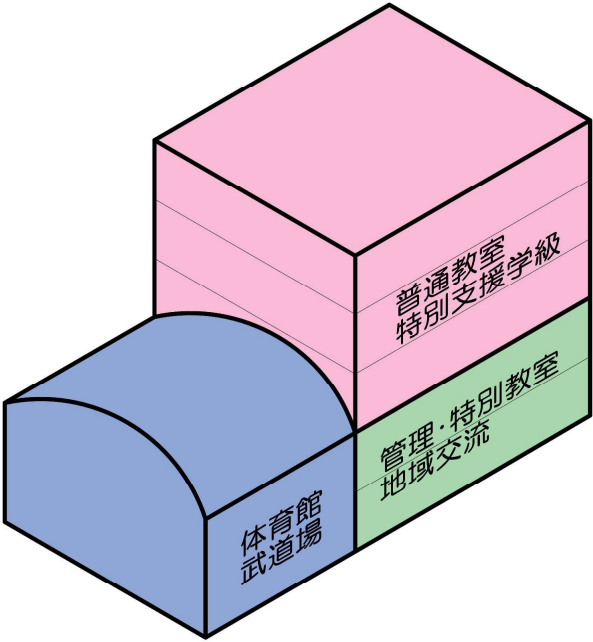
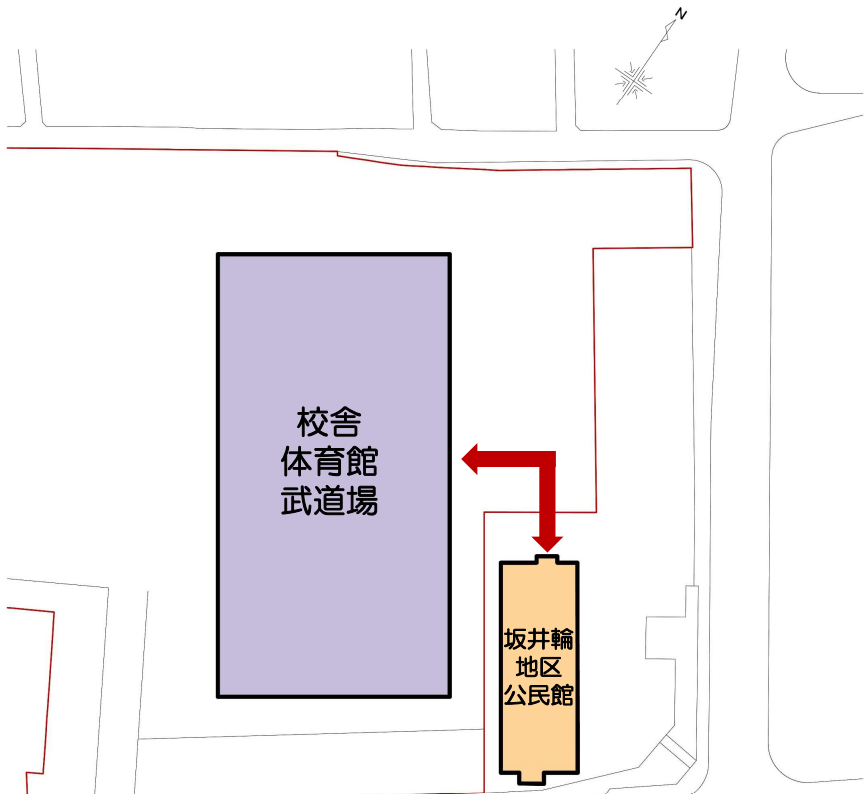


■建設可能範囲



■施設イメージA 体育館独立型



POINT

- 体育館が独立して平屋建て
- 特別教室・地域交流エリアが校舎の1・2階
- 3階から上階は学校専用

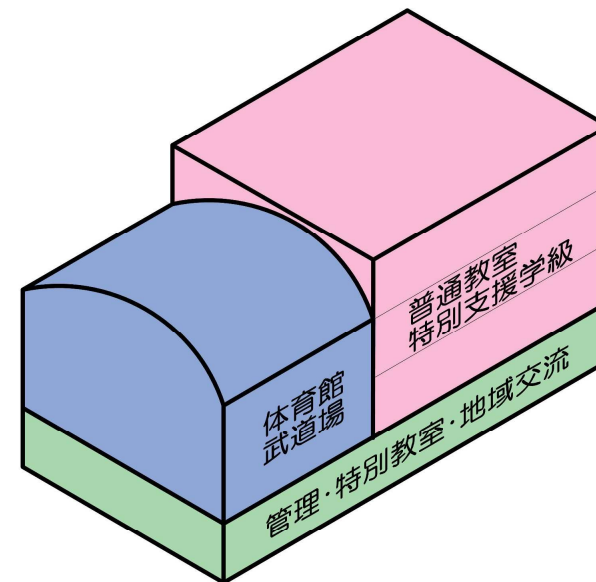
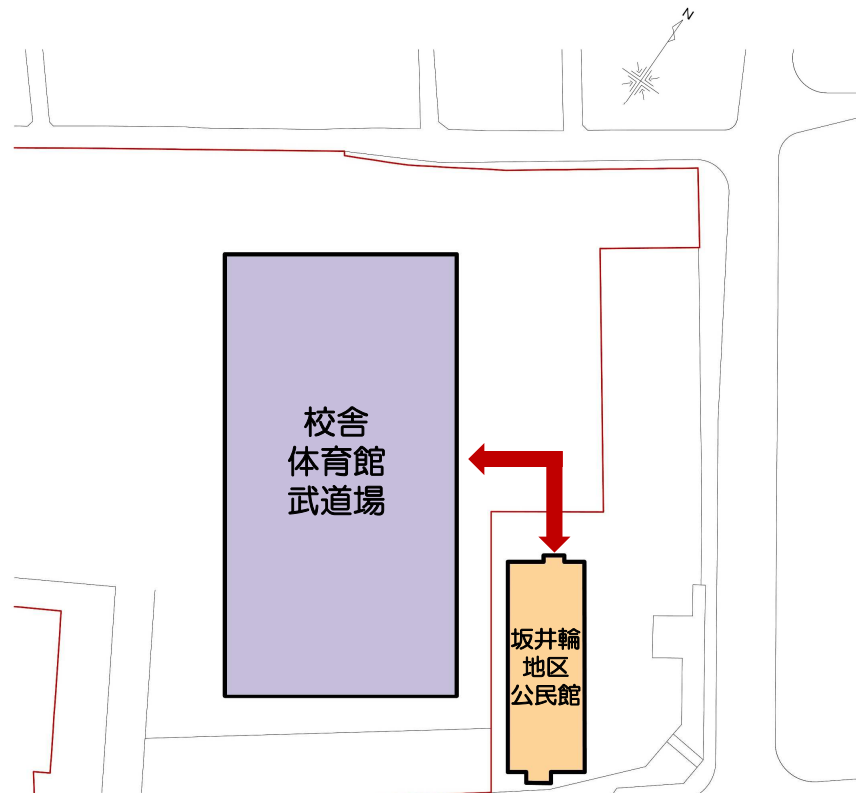
メリット

- エリア毎の独立（セキュリティが容易）

デメリット

- 地域交流エリアが2層に分かれている（上下移動）

■施設イメージB 体育館積層型



POINT

- 体育館を校舎2階に配置
- 特別教室・地域交流エリアを1階に集約
- 3階から上階は学校専用

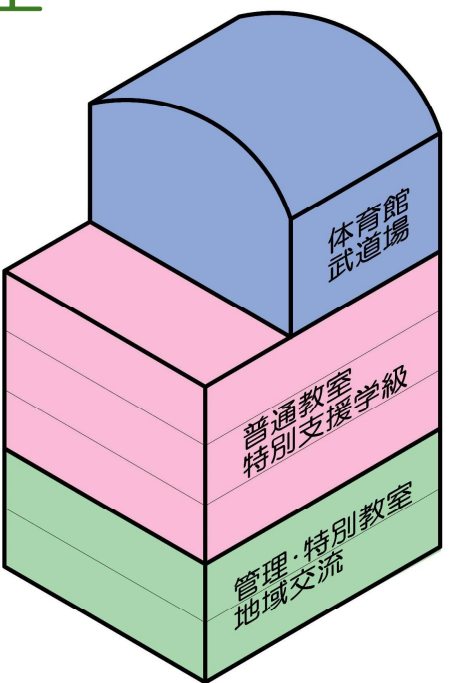
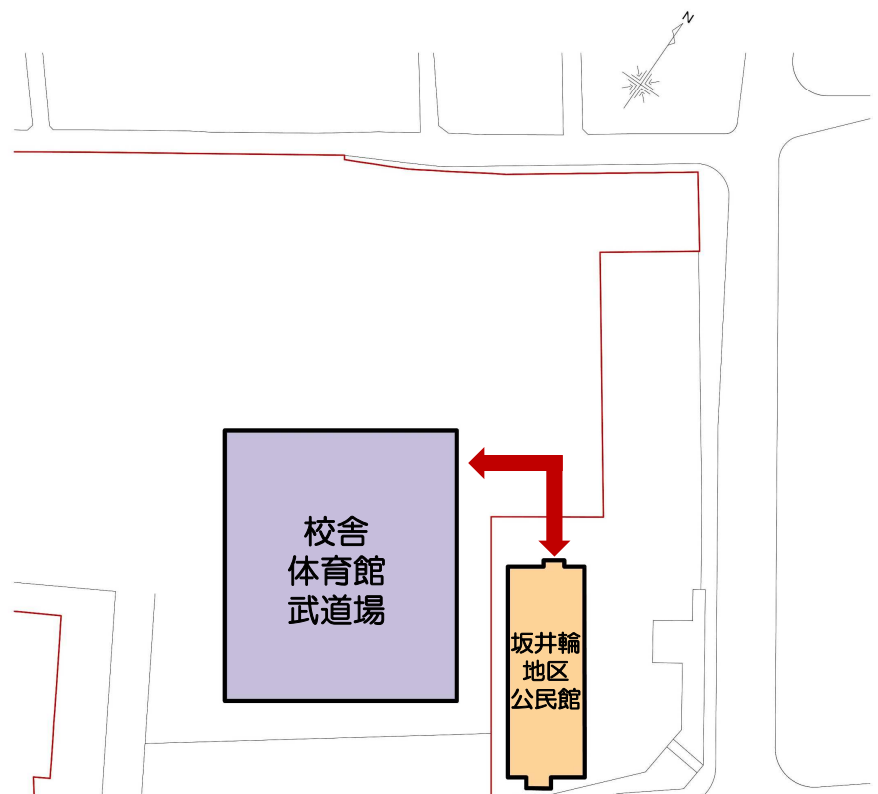
メリット

- 特別教室・地域交流エリアが横移動のみ

デメリット

- 地域開放・避難所となる体育館が2階に配置
- 1階が横に広いため、生徒の移動距離が長い

■施設イメージC 校舎・体育館一体積層型



POINT

- 校舎・体育館を一体に配置
- 特別教室・地域交流エリアを1・2階に配置
- 中間階は学校専用
- 最上階に体育館を配置

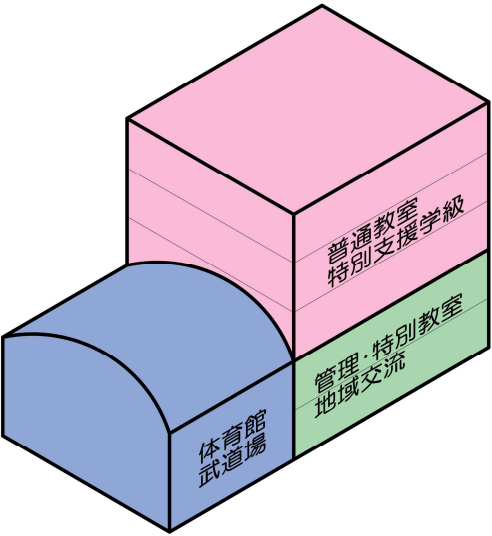
メリット

- 建物がコンパクトになり敷地の有効利用が図れる

デメリット

- 地域開放・避難所となる体育館が最上階に配置
- 生徒の縦動線の移動距離が長い

A 体育館独立型



POINT

- 体育館が独立して平屋建て
- 特別教室・地域交流エリアが校舎の1・2階
- 3階から上階は学校専用

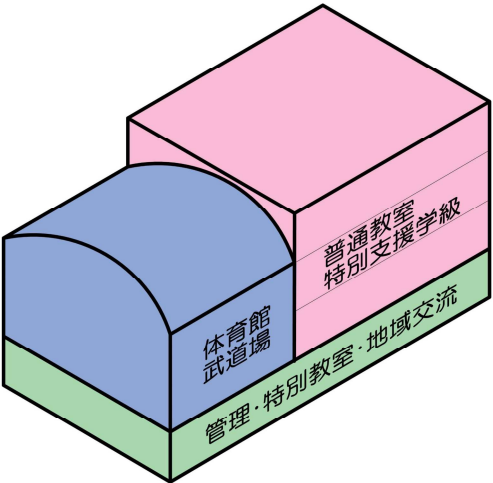
メリット

- エリア毎の独立（セキュリティが容易）

デメリット

- 地域交流エリアが2層に分かれている（上下移動）

B 体育館積層型



POINT

- 体育館を校舎2階に配置
- 特別教室・地域交流エリアを1階に集約
- 3階から上階は学校専用

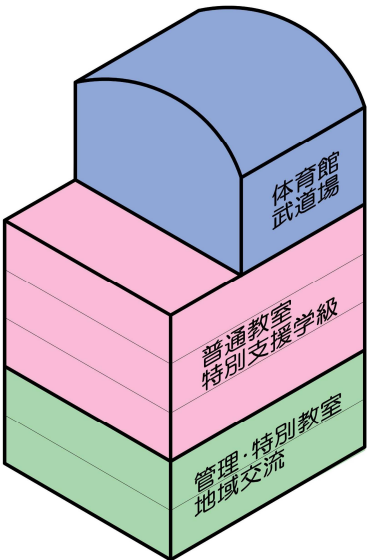
メリット

- 特別教室・地域交流エリアが横移動のみ

デメリット

- 地域開放・避難所となる体育館が2階に配置
- 1階が横に広いため、生徒の移動距離が長い

C 校舎・体育館
一体積層型



POINT

- 校舎・体育館を一体に配置
- 特別教室・地域交流エリアを1・2階に配置
- 中間階は学校専用
- 最上階に体育館を配置

メリット

- 建物がコンパクトになり敷地の有効利用が図れる

デメリット

- 地域開放・避難所となる体育館が最上階に配置
- 生徒の縦動線の移動距離が長い

キーワード

〈学校〉

- 学びの中心となる学校図書館
- 多目的ホール・講座室
- 講堂・ランチルーム
- フリースペース
- 普通教室の大きさ
- 教室と廊下の壁をなくす
- インクルーシブな学校づくり
- 西日を考慮した配置
- 体育館の冷暖房
- 公民館とのつながり
- グラウンドの芝生化
- 駐車場の確保

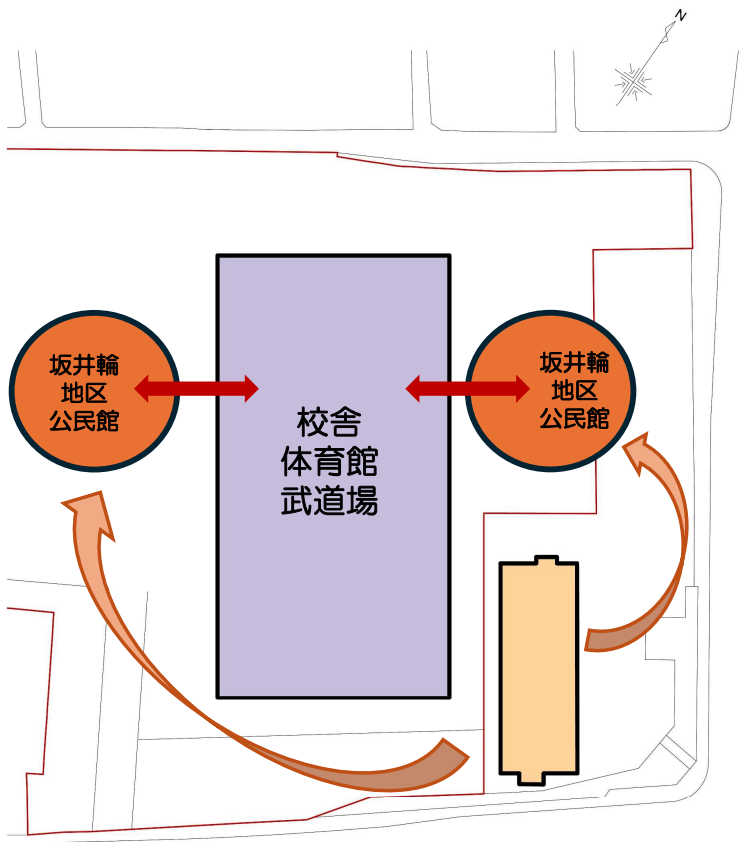
〈地域〉

- 小学生や地域とのふれあい
- 地域活動ステーション
- 地域の担い手づくり
- 学校の特別教室の利用
- 地域住民も講座に参加
- 講堂・ランチルーム
- 誰もが利用可能
- 安全面への配慮
- 周辺道路を広く（校地利用）
- 屋外照明
- 部活動の地域移行

〈防災〉

- 避難時の避難動線
- 避難所に近い防災備蓄倉庫
- 避難所と学校活動の両立
- 講堂・ランチルーム
- 体育館の冷暖房
- 防災学習・防災センター
- 防災について学ぶ場

■坂井地区公民館の建替え構想



坂井輪地区公民館の建替え時の状況により変動する項目

- 坂井輪地区の人口による施設規模
- 坂井輪中学校に空き教室がある場合の活用

上記により現段階で建替え時の構想は難しいが、建替え位置として2パターンが考えられる